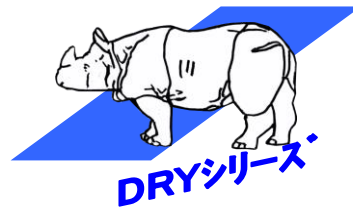


ハイセメント DRY concrete



ドライコンクリート

「DRYドライコンクリート」は、乾燥させた川砂と小砂利に、普通ポルトランドセメントを加えて調合し袋詰めにした既調合インスタントコンクリートです。水を加えて練るだけで簡単に良質の生コンクリートが作れます。

特長

1 既調合品でお手軽

工場管理でブレンドしておりますので、バラツキの少ない安定した製品です。

2 作業性の良い配合

川砂と小砂利(粒度10ミリ以下)を骨材として使用しているため流し込みが容易であり、平滑な仕上がりが可能です。

用途

練り上がり量 約13ℓ/袋

1 各種ブロック及び、花壇などのレンガ積み基礎用コンクリートとして

2 各種看板や標識等の据付用コンクリートとして

3 庭敷石や平板等の下地用コンクリートとして



※お願い : 上記用途においても、設計指定のある場合はその内容に従った製品(JIS規格品生コン等)をご使用下さい。

使用方法

荷姿 25kgビニール2層袋入り

1 下地処理

施工面の処理としての路盤材敷き詰め転圧や、型枠の組み付け及び鉄筋の配筋などは一般的な生コンクリート打設の工法に準じて下さい。

2 混練

DRYドライコンクリート1袋(25kg)に対し水3.0~3.5ℓを徐々に加えてハンドミキサー等で3分間攪拌して練り上げて下さい。(施工方法により練り具合を調整して下さい。)

3 打設 (流し込み)

事前に組んだ型枠に、練り上がったDRYドライコンクリートを流し込み、隙間のないように棒状のもので突き詰めるかバイブレーターを掛けて下さい。

4 仕上げ

打設したDRYドライコンクリートの表面を木ゴテや金コテで平滑に仕上げして下さい。

5 養生

打設後養生期間は10日(冬期14日)以上とし、強度が必要となる型枠解体は28日以上経過してから行って下さい。また、通風や日射による早期乾燥を防止するためシート養生や散水養生を行って下さい。

- DRYドライコンクリート混練に使用する水は、必ず上水道をご使用下さい。(不純物の無い清水をご使用下さい。)
- 気温が5℃以下になる場合は施工を中止して下さい。また、冬期の低温下では硬化速度が著しく遅延することがありますので十分な保温養生が必要となります。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止して下さい。
- DRYドライコンクリートは、壁面にコテ塗りする事はできません。床面への施工または、型枠充填としてご使用下さい。
- 既存のコンクリートやモルタル面に、打ち継ぐ場合は、下地面の目粗しやプライマー処理を施して下さい。
- 硬化後の表面にセメント製品特有の現象である白華(エフロレッセンス)が発生することがありますが、品質に異常はありません。

性能

※ 試験項目	材齢 7日	材齢 28日
曲げ強度【N/mm ² 】	4.5	5.2
圧縮強度【N/mm ² 】	15	24

※ 上記の試験データは、本製品の技術情報として提供するもので保証値ではありません。

お取り扱いについて

【取扱い上の注意】

- DRYドライコンクリートは、強いアルカリ性です。お取扱いに際しては、ゴム手袋、保護メガネ、マスク等の保護具を着用して下さい。
- 使用時は、換気の良い場所で、できるだけ粉塵をたでない様に取り扱って下さい。
- 取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行なって下さい。
- 使用した工具や用具などは早めに水洗いして下さい。

【応急処置】

- 目に入った場合、絶対に目をこすらずに、速やかに清浄な水で最低15分洗眼した後、医療処置を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受けて下さい。
- 誤飲した場合は、大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けて下さい。

【漏出時の注意】

- 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋等に回収して下さい。
- 使用した用具の洗浄などに使用した排水は中和、希釈処理により、河川等に直接流出しないように対策をとって下さい。

【輸送上の注意】

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認して下さい。転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行って下さい。
- 湿気、水濡れに注意して下さい。

【保管上の注意】

- 雨露のかからない湿気の少ないところに保管し、地面に直接放置しないで下さい。
- 一度開封した材料は、開封口を輪ゴムなどで密閉して1ヶ月以内に使用して下さい。

【廃棄上の注意】

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

【カタログに関する注意事項】

- 本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。温度や環境により数値が変化することがあります。
- 本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
- カタログの内容は、予告なしで変更する場合があります。

2016.11.25



発売元
太平洋セメント販売株式会社

〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目12番18号(第一銀座ビル6F) 〒270-0231 千葉県野田市小山3089

お問い合わせ窓口(マテリアル支社) TEL 04-7132-1881 FAX 04-7133-5488

製造元
有限会社 野田産業